第62号

2015年 9月4日

役員数151社 中部支部 (2015年9月現在)

可

能

あ

りますが、

を

なもの、

不可 コ

なも

部環境には、

Ť 能

口

引き受けることにいたしま させるチャンス」と捉え、 浅

のですが、

「自分を成長

同

友会歴二年半で経

験

は

たしました。

年

度

から支部長を

拝

命

どう

えるかは、

自

一分でコ それ

1

口 捉 が

ルできます。

捉え

中部支部 ゆいまーる

有 ニヘーデービル 長 西 (県経営副委員長) 平 社長 利

引き寄

だせら

れます。

中 に

方次第でチャンスは

部支部の会員が心

0

底 私 無

から は 限

「わくわくイキイキ」

できる

チ

t

沖縄県中小企業家同友会

http://www.okinawa.doyu.jp

E-mail:doyu@okinawa.doyu.jp

中部支部広報委員会 TEL :098-8 5 9 - 6 2 0 5 FAX :098-859-6208



副支部長 有 太 ゆうな商事 田 社長



支 部 覗きに来てください。 社 皆さんと、 今 員 員 7 会開 年 いただきます。 教 で 活 度 育 催の か 委 動 この元気な中部 5 してい 員 副支部 詩に 会 担 は 当です。 きます。 会員の 長をさ 気 楽に

> 副支部長 株 アイセック・ジャパン 瀬 宗 社長

役員あいさつ



力を入れます。 特にうるま市の 今年 も副支部長 会員増 ですが、 強

また、今年は、

第十

口

雇

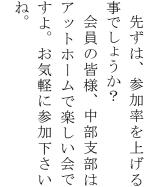
用

ります 支部設営で行われます。 就労支援フォーラムが すべく頑張ります。 県の障害者委員長でもあ 地 元中 \mathcal{O} で、 部 副支部1 0 開催、 長とし を 中 成 功 部

副支部長 有 アンカー 與 (碧の会副 崎 商事 常務 美

束を強 せてい 支部 を目指したいと思います 昨 年に続き副支部長 め ただきます。 本音で語れる支 更に会員 西平新 間 んをさ \mathcal{O} 結

> 株 幹事 沖縄エンジニヤ 堂 取締役





は会員 て頂 じて会員増強を目指します。 昨 年に いきます 力ある支部活 0) 続 皆様との 松 き 堂 幹 事 で 交流 す。 長 動 を を を ま さ ず せ

図れ

る楽しい

企画

て今年も

会員

同

士 一の親 を

睦が

中

部

支部

0

宴 会部

長

ح

ていきます。

企

画

が

好きな 実施し

方は例会企画

委員会に気軽

-部支部

会員企業の社長

員様が学びを深め、

業 0

Powerful Management

代表

瀬

績向 と社

上され

ますことを

願

て

いま

かす。

未熟ながら、

皆

様と共に成長したいと存じ

例会委員長 株 インプレス 村 弘 社長





ます。 にご活用賜りましたら幸 ぶ 共育寺子屋」を積 社 長と社員 が 共に学 極的

です。 経営委員長 山 智 美



二水曜

H

十九時から㈱イン

にご参加ください。

毎月第

プレスにて。

から 支部 さ 1 せ ホ 1 ていただきます。 経 だ 0 ŧ 営委員会の委員長を Δ なぁ~」と思うアッ な中部支部 ワ イワイ で今年 楽し まだ

> ます! けの おかけください。 行事や懇談会などでお見か ても楽しみにしております。 方々とお会いできる事をと 年に引き続き今年も多くの に た まだ新米の役員ですが、 に声を掛けさせていただき チ って砕けろ」をモ 際 ヤ は、 お気軽にお声を ジします。 私も気軽 ット 当 昨 す。

有 中部支部健障 マネージャ



人を生 支部 深く学んでいきたいと再入 して 中 さらに 部 参 で 支部 か 同 加 します。 す 友会の学 経営、 健障者委員 に · 新 し ま **1 び 以 いだまだ を経 仲 前 会で 北 間 لح 験 部

> 友会の 仲間 会となりました。 づくりを進めてい 理念を大切に楽 今後 きま しく は 同

トータルサポート商会 雇 用 オーラム実行 就労支援



ます。 り組 年は中 長を拝命 就労支援フォーラム」 健障者委員会の ご参加お願 頑張ります。 んでいます。 微力ながら実行 ·部支部設営で開 成功に向 是非 1 層用 た が 今 子委員 け 催 L ま 取 協

阿嘉 代表者

翌年より支部役員。 同 友会に入会して四年。 解らな



います。

んの支えで楽しく活動

いことだらけです

が、

皆さ



きたい キで活 えず会員の 員会から、 員長を中心に 当させて頂 今年も例 · と 思 動 L わ べきま 会企 企 和 1 いくわく ま 画を 毎 す。 月 す。 画 輪 練 \mathcal{O} 委 とり 広 0 1 定 石 員 ・キイ げ 7 例 村 を 委 担 委

いです。

川上 川上食品 勝 後継者 敏



今年も宜しくお願 1 L ぇ

ハウス産業(株) 照 屋 守 社長 道

いと思います。

若手を盛り上げていきた



すぐらりーんどう~!! 営者 ₽, 勉強さんね~

株 〔県 うりずん」 ジーエヌエー 後継者 幹事長) 周



させて りず 強したいと思います。 自分自身も経営について勉 また若手経営者部会 ん」の幹事長にも就任 預き、 さらに同友会 う

司法書士法人なかいし事務所 耕 郎



降には 新規ホー な減 相次ぎリ お いては、 ここ沖 増 少 と反 加 入域 テ ル 縄 観光客 より 開 当初の予 0 比 7 選業ラッ ンシ ホ 例 テ 需 L 要と供 ル た 数 彐 定通り 業界に シュ 宿 \mathcal{O} ツ 大幅 ク以 泊 客 が

も会 本会行· 状です。 ど参加出 と思っています。 業が忙しいことを口 ます。中部支部の幹事になっ 年 しくお願いします。 て三年目となりますが、 -度中部 ました中石耕 への参加率を上げたい 事・支部行事 支部 来ていない 今年度は、 平 ·成二〇 幹事 どうぞ宜 郎といい 少しで へ殆ん \mathcal{O} に :実に、 が実 就任 本 五 じ

ラグナガーデンホテル 長 取締役総支配人 田 晋

株



し上げます。

今後とも宜し

お

願

1

間、 稼働 大手主 バ 低 ラン は 迷 + 要 ホテ 0 %強と下落 ス 時 が 期とな \mathcal{O} 気 年 じ 長 間平 ŋ 崩 ま れ 期 均

り、 増加し、 ます。 は活況 規制緩和円高が追 モー 前の稼働 め かしな 外 国 とし ションを始 \mathcal{O} IJ 様相を呈し 12 人観光客が た 戻り現状ホテル ーマンショック がら沖縄 各国 1 \mathcal{O} 急激に しており ビザ 風 県 とな ブ を 0 口 は

何に自 タッフに伝えるべく努め けるか」、 斐を持ってもらえるか」、「如 フに「如 今だからこそ働く全 感は否めませんが、 おります。 の学びを一人でも多くのス お そん いても例外なく人手不足 な 身の伸びを感じて頂 中 何に仕事の遣り 同 友会での多く ホテル業界に こん スタッ て 甲 な

山 悠 E N 恵美子



た。 は楽しく読ませて頂きまし 属してい ゆいまーるネットワー 昨年 -度は経営委員会に ましたが、 広 報 ク 紙 所

きたいと思います。 ら広報活動を盛り上 入りました。 てみたい 今年度は情 0) で広報 E報発信 幹事の立 委員 げ ŧ 場か 会に て 担 0

(県広報副委員長) **広報委員長** 株 夢づくり沖縄 井 社長



活動に参加します。

会計監査

有)中部大理石

社長

安慶名

サ

カエ

心から敬意を表します

信義

を重んじ誠実を旨と

おひ

とりの 部支部

熱意と行動

労力に

中

仲間

 \mathcal{O}

お

します。 1 \mathcal{O} で は ネ きます。 発行 ○○号二○○号とつな いくために今年も年 P 広 六十 1 報 を目標に ワ 紙 号を超え] ご協 ク ゆ 力をお願 取 1 \mathcal{O} ŋ ま ま 発 組 した。 んで 应回 行 は る

会計監査 有) サニマイト 福 里 清

て中 きます。 になるようサポ 1 部支部がますます元気 1 仲 :間を 11 0 ぱ 1 して 7 募

県副代表理事 株 ジーエヌエー 里 敏 社長



張っていきましょう!! 中 部 \mathcal{O} 元気を全県に! 頏

(株)

感

想

5

七月経営学習会

曖昧 事 に見るということでやった は あり

ましたが、

結

果、

社長の自社での実践報告を参加八名。総合包装㈱宮城いちゅいじんぶん館で開催。 もとに解説が行われました。 加者の 七月二 感想を掲 十二日、 載します。 うるま市

の経営、人材育成、製品・サー フジタカクリエイション 直 に 感じた事 棚原和希 は、 会社

> タと比 と感じ

較する事ができるの

で、

他社と比べての自

社

観的に見ることのできるシ ビスなどについて改めて客 ステムだと感じました。 今までも、 自社を客観 的

取り組 確に出 た弱み ため、 すべ 分が見てわかるの めて自 グラフ化されることで、 かったように思います。 つ一つ 今回の き強み、 な むべ 社の 明 0) てきます。 形で終わる事 (足りていない) 確に 質問 プログラムの き事が、 強みの部分、 改善すべ 出てくるのだ 0 内容が これ で、 ょ き点、 様に 深 ŧ り 伸 が 多 明 ば 部 ま 改 1

> 状態を、 ていました。 より掴みやすくなっ

改善の でき、 社 ラムをやる事で、 ゆる問題の改善が進 難しかった会社 ける事で、 これも魅力だと思います。 従業員全体で、 くのだと思いました。 いろいろな立場から見た自 なにより、 経営者· \mathcal{O} 状態も 数字では 状況と現状 取り 幹部だけ 知る事が これを毎年 こ の 組 表 全 体 わ \mathcal{O} λ 社 つでなく 内 λ 0) す 把 で ブ でき、 口 で あ 事 握 で 1 続 0) 6 る 0 が



さん (左) ㈱フジタカクリエイション・ 棚原

ました。また全国デー

電話:〇九八一九三八 - 二三二三 沖縄県うるま市字州崎一二の二八 ㈱フジタカクリエイション

障がいのある方が地域で働き、地域で暮らすために 「第10回雇用・就労支援フォーラム」

日 時 10月3日(土) 昼12時~午後6時45分

会場 沖縄コンベンションセンター 会議棟規模 500名

第1部「基調講演」

テーマ:誰もが働ける社会の実現をめざして ~障がい者の「働く」を支えるとは~

講 師:厚生労働事務次官 村木厚子氏



第2部「分科会」

第1分科会(雇用している企業の報告)

テーマ:個性を尊重し、特性を見極めると「能力」が見えてくる

第2分科会(支援する側からの報告)

テーマ:スポーツを通じて見えてくるワークライフバランス

第3分科会(連携づくり~パネルディスカッション~)

テーマ:すべての人の「働きたい」に応える~雇用・就労を支える連携とは~

第4分科会(学校の取り組み~パネルディスカッション~)

テーマ:社会自立・職業自立をめざして~企業への橋渡しにおける課題~

第5分科会(就職困難者支援)

テーマ:増えつつある就労困難者のサポート

いがの べま るようです。 校 足別意識を対 した。一郎対する思い 始め 習を受け入 ると、 なりまし 題 生活で培わる。 対 か かずる前向さなにより4 会の \tilde{O} が、 別支援学校 カュ カュ ると、 ることも 0 だろうと 未 中に とまど いて 考 我 来 払 は が きな考め を彼れ 緒 拭あ れ標 子 あい雇強 す る え 者 \mathcal{O} 5 \mathcal{O} きて 働 る 障 偏 り P 用 \mathcal{O} 生 う 雇 え方 感じ ま 見 時 に 勤 徒 ょ 用 \mathcal{O} 害 す 労 カュ う \mathcal{O} て P 間 比 子 \mathcal{O} 長年に、 しよう です。 支援 を目 会社 すること、 営者とし 会社 みることが 就 ぜ 障 私 7 1 る たち 標としてい で企 \mathcal{O} 同 存の 営 V ま 戦す。 実現を共に学び 友 フ 在となる 力とし 会 オ できるチ は、 共の 共に育つ 大切 理] 地 生 ラ 念 ず 一できる て価 を L 域 れ 彼 ヤ に ぞ 5 貢 うれ L 生 参 を 催就かて 値 難 社か加 労 5 献経の



健障者委員長

仲

本



★うるま市

有きらら総合企 画

うるま与那城平安座八二七九― 二〇〇四年五月十日設立取締役社長 玉栄 章宏 九八—九七七—八八七七



長を訪問しました。 きらら総合企 平 安座 島に事務 画 所 0 玉栄社 が たある

出 な 7 コ に参 せ か お ま 玉 立栄社長 ŋ な] なくて、 加 カュ る部会 さ 中 積 は、 れ 部 極 て 的 設 支 \mathcal{O} おり 同 部 立 に 部 月 同 友 長 ŧ 友会活 人もされ 会の 訪 は す 問 顔 が が 工

ある事 縮さ、 れてました。 ŧ 知らな カコ 0 たと 恐

介護

サ

]

ス

け住

宅三

まで 安座 で十三 せて 業さ で働 油 所 元 活躍を応援したいです。 高島 れ 1 \mathcal{O} 0 0) カュ 々 \mathcal{O} 年になりますが、 ただきました。 貴 頃 閉 れ 平 て 発 へから、 7 重 安座 おら 鎖 展のために、 な体験話 いま 一島 れます。 独立され L 0) 立 た して が、 を 出 今年 聞 益 光 平 る 出 企 製 カコ Þ

訪 問 瀬

うるま市江洲三八の三 二〇〇八年六月一日設立代表取締役 江夏 禄栄 九八一九七九一二五〇〇



兀 店 赤 道 舗 薬 局 介 を皮切り 護 施 設三カ に薬局 所

> 中部 を中心に展開。 付 \mathcal{O} き高 病 経 営。 院 0 齢 うる 向 者 カ 向 質が多 従わ て右も 継 1 んとい だ。 左 当 t け 時 わ

ま市、

縄 力 ピ

市 所

赤道

薬

局

は

て写真 訪問 < <u></u> < _ カメラマ 屋、 ・まし ル 某 昧だったため、 t L ウ カメラマン・新 撮影を忘れて ましたが、 社 長 ンとして撮影に ス サン が記念品 (記念品贈呈 ギ 例 彐 ゆんた によ 改 贈 ウ 井 いめて 呈 \mathcal{O} 伺 某 0

有 中部大理

○九八―九七三―○五九九 うるま市田場一八四○の二 一九七二年六月二日設立 代表取締役 安慶名 サカ エ



二十数年。 そうです()。 外 で 撮 影 主人が亡くな た 0 同 で 友 少 会 歴 眩

ラマ

新井

れた。 経営者部会に参加してい 方、 何で女の は古 同 からず ん 友会の と反 職 숲 指 発 人気 社 女 示に さ .を

うな 思う。 とで 当時 きた。 話題になった。 新聞 ては 0 に 頑 私を認 張張っ 私 7 にも掲 売 公共 は Þ 0 7 は ているんだな」と徐 同 女性 7 な 同 さ ス ŋ 友会の 工 カゝ 友会がなけ 8 れていた。 コミなどか 1 上 事も. たの るように 載され社 経営者というこ 0 げ たし会社 も低 「社長も外で お 年 か かげ Þ わ 迷 になって 内でも 5 減 カン れ 時 だと もも 気 5 もど ば 0 Þ 味 7 な 今 は

御影石 での ている。 だったが、 き 0 (記念品贈呈 7 沖 (墓石 試 縄 してみて 大理石だけでなく、 . る。 風 今年は持ち 0) 風 化 情 粧 琉球石灰岩 が なども流 あ ŋ 直 力 ま メ

宜

(株) フェスト 玉 一際リゾ r 研究 所

宜野湾市字真志喜三の一 専務取締役 九九四年七月八日設立 九八一八七〇一二七〇 藤原 二八の二 = 五音



宿泊 ∇ 業 種 ホ テ ル **会** 議

為、 もらいました。 本日 崎 間 は さまにて 藤 原 専 務 対 が 応 留 守 7 0

対応に追 しゃっていました。 この 诗期 なさまへ わ は れ Þ て 1 は 伝え ると り 忙 た お

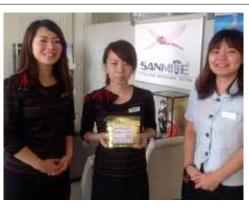
事はBBQがおすすめ 人二八〇〇円 プラス

で \mathcal{O} 放 五. き で 題 五. 一時から ま \bigcirc お ! j Ō 気 準 ,よ^.営業 핅 備 軽 九時です。 に など で 生 イ ベ ŧ ビ 時 ン 1 間 1 5 ル 飲 は 開 な 午 催 4 11

訪 問 者 古 波 蔵、 松 堂

有 サ

一九八六年七月三十一代表取締役社長 与 福里清孝



数あ ∇ 留 本 社 ŋ, 業種 員 守 日 数二 で は 福 . . 福 L 畄 シ +た 里. 原県に 口 名 \mathcal{O} 社 T で 長 t IJ 各 社 ŧ 駆 支 副 員 除 店 社 \mathcal{O} 多 4 長

を ぜ 4 あ 絶 L えな た。 S な ŋ ż が とて サ W 1 とうござ 素 シ 二 敵な方々でした。 ŧ 口 7 明るく T IJ 1 0 ま 笑顔 事 L な 相 た。 \mathcal{O}

訪 問 古 波 蔵 松 堂

城 技 術 情 報 (株)

宜野湾市字嘉数二の 一九八六年六月一代表取締役 宮城 九八一八七〇一二二二七 一六日設立 一八の二〇



7 \mathcal{O} 会 年 訪 頂きまし た 社 目 問 ∇ め、 で 上 L 建 す。 ま 城 設 役 技 L た。 関 員 宮 術 城 連 \mathcal{O} 情 \mathcal{O} 方 社 設 報 設 長 立 計 三 対 が 株 監 + 応 留 を 理 九 守

(訪問 松 堂 西平)

なさ

h

対応

L

ても

5

1

ま

沖 縄 央学 袁

○沖一企九縄九画 市五室字四長 - 九三三一 0) 一日設立 九二〇 安仁



課長さん 福 ∇ 祉 対 応 科 L て頂 (真ん中 保 育科 1 で、 た 0 学 は 生 宮

> 位は 士 が に 一を目 約三〇 1 場性も。 そ 指 L むそうで \bigcirc L て三 名。 年 大 間 半 は \mathcal{O} 勉 保 割 学 育

★沖

市

北

谷

谷

だまだ どに に に 1成長 沖 新 縄で -業後 設 就 職。 分 さ 足 は。 野 れ は ŋ ず、 なんです 保 ほ て (訪問 ぼ、 11 育 ま 毎 遠 す。 保 年 0 新 \mathcal{O} 数 ね 育 井 意 ょ は 遠 外 特 Š ま な

一九九九年五月二代表取締役社長 (株) 縄 市諸見里三 \overline{o} -六○ 四一の 一 の一 の一 の一



共 ∇ 工 業 事 態 \mathcal{O} は 元 IJ 請 け フ に オ 特 1 化 ム لح l 公

> 他社 と言 は لح 事 供 あ 画をやっ シ \mathcal{O} 11 11 必 ・ビア 要。 る。 る。 な 世 L 1 は で T . う 1 界。 に 0 殆 11 で、 ٤ どち 持 7 تلح 地 7 オ < て、 IJ な 道 ン 下 0 元 Ċ ず フ ケ て 必 請 請 5 か モ カ ず 良 テ 最 ŧ 11 オ け 0 け な か 後 1 は た。 11 イ 0 l ル は 競 1 に لح 儲 Þ 争 ŧ れ A ŧ 絡 そう 0 グ る 価 設 は だ 5 カュ 4 \mathcal{O} (新 を 事 計 特 力 格 る か \mathcal{O} な 厳 井 仕 ŧ で 企 ŧ カン

沖 縄 報 経 理 車 門 校

八

○九八—九三八—三 沖縄市字仲宗根町で 一九七二年五月設立 校長 吉本 勇一 一三七町八の 八立 九一



0

きたと

のこと。

帽 ば

t L

日

イ

オンラ

1

力

 Δ

11

方

で

L

た。

写

真

 \mathcal{O}

似

合 買 子 5

1

で 7 昨

ょ

ね。

今

後

同

友 お

えると

1

· う言

葉

ŧ

1

ただ

0)

な す

が

1)

t

前

向

きに

(ご子息四 ∇ 創 吉 業 沖 本 カュ ·校 縄 5 男 情 長 五. 報 + 吉 経 様 年、 本 理 教 専 闁 沖 務 縄 学 部

校

長

業員 て送 ることを が、 は 献 な 域 さ 単 成 職 護 か を受 を考 テ 七 が せ 先 育 校 5 な を ナを 十 二 ŋ 6 時 は لح ス る 0 セ 元 る モ えら 気 け 北 タ 込 仕 流 0 企 全 ン 資 ツ 続 張 歳 事が では は ま むことで、 に 業に 部 タ] 海 1 格 アンテナ つら ĺ け ŋ になるそうです L 道 れ で \vdash 取 巡ら た。 できる人 なく、 5 て 役 情 約 を L に 得 つで常にア <u>\f</u> 報 那 れ 1 六 展 L \mathcal{O} 、る点に せ、 大学 て + 吉 0 開 覇 て 勉 人財 を 常 本 地 校 1 名。 中。 お 校長 考え る 域 لح は 強 沖 Ď, 貢 地 を 育 縄 名 n 就 従

き、 でした。 あ 0 (訪問 لح ŀ 1 う 間 石 村 \mathcal{O} 時 間

採

用

L

7 0

お

り、

ほ 新

と 卒

 λ ŧ

どが

11

ると

こと。

毎

年

(株)ネ Ш 店 沖

校

沖 一 店 一九七七年工 比嘉 九縄 市字登川二 五月六日 四四四 一三六一 設 の登



で、 た比 検 違 が は 売 ま لح 中 ∇ 査 1 比 L た。 昨 で は て 古 率 嘉 高 t 車 は 店 年 品 質 多 沖 約 長 登 年 新 \mathcal{O} 車と 縄 需 に Ш 式 \mathcal{O} 対応 では 要が 中 対 良 店 0 中, 八。 車 に を 他 中 多 古 赴 11 ただけ 車 揃 厳 社 古 1 沖 任 との そう さ 車 え 縄 0 L ħ 店 販 11

> 加をお 心 る。 間 営 実 施。 で、 六 業 自 ケ 職 願 月 社 社 で 後 外 で 0 \mathcal{O} 支 講 中 採 \mathcal{O} ました。 部 用。 で 師 社 活 を 員 将 動 招 教 来 見 育 性 習 11 を て 0 が 1 見 期 参 0 中

訪 間 石 村

イウェイドライブ イン

沖 代 ○九八丨 一九七二 表者 縄 术市登川· 一年五月十 仲宗根 九三七 七〇 一番 一八番四地 -五日設-朝 四 八



イ 代 F ∇ 表 ラ Ρ イ Μ を ブ 兀 訪 イ \equiv ね 7 仲 ま ハ 1 1 宗 根 ウ ŋ ま 朝 工

> え、 父さ 込 L そ 4 た。 おり ん か \mathcal{O} 5 朝 ました。 息子 時 尽 間 間 代 3 帯 \mathcal{O} 表 W は ピ は 交代 が 早 切 ク 朝 盛 で を \mathcal{O} 親 終 ŋ 仕

贈呈しました。 さん IJ が 0 繁 ユ 1 Ì \mathcal{O} 盛 0 (息子さん) 時 店 ぱ Δ لح 間 で す。 中 帯 でも 部 味 代 で に 理 な 価 お 記 で 客 か 格 念品 朝 な • ボ 輝 か W

訪 問 大 田 治

城湾港 運

沖一代 ・縄市海邦町三の四二 九八九年六月十二日 表取締役社長 四 桑江 Ť 八 設 立浩



こと対 ク 沖 社 在 0 風 見こわもてな社長です な キ 縄 \mathcal{O} \bigvee には 中 社 \mathcal{O} 中 ヤ 幸 名にかけた ツ 応 城 チ 社 幸 L 員 運さ てく コ 合ん ۲° (新井・石村) ん。 運 れ が 幸 が びます まし にこに 社 ユ 運 長 た。 人 が

さ

テー

代表取 一○○三年六月二日設立八表取締役 西平 守利 市字胡屋六の一の 一 二 0 六 四五〇



ん 会員増 · 今 年 挑 1 戦 人 - 度より中部支部 が 強 続 1 け まし ŧ る西平さん。 熱 たらご紹 皆さ 長

ご 予 介 真にある老 お 約受 لح 願 は い 付 思 L 人施 待 1 ま ・ます す。 ってま~ 設 問 が ま まだまだ 皆様 た、 松 す! 堂 写

ブラザ

沖一代 九五四年七月十三日設立 【表取締役社長 平良由R 縄 元−九三二−四四八○市久保田三の一の一二

 ∇ プラザ ハ ゥ ス 平 良 勇

7 \mathcal{O} が ピ た。近くに超大型の 5 ろ 1 心 グ 1 を 独 務にご対応いただきま ま ろ モ 掴 自 す。 と差別 1 色 ts. ルができたの をだ ょ 交 う 通 化 日 量 を Þ は 図り 努 お ショ 増 分 客様 え

した。 プラ 張 人 0 0 往 7 ス 効 来も増えて 1 別果を出 きたいとのことで せるよう頑 るの で、

ると 長期 こともあ 情 オ 等 報が ン 0 イ に 環 話 \mathcal{O} オ 聞けて良 さ 視 境 れて 番 点で見る必 で ŋ 近 大 山 う くきく変 里 7 1 る かったです。 企業 ま 地 0) L 区 で た。 要が 0 化 \mathcal{O} 短 方の す 開 期 あ る 発

訪 問 太田、 新井

資) ケア・

沖縄市字松本三の七の二七二〇〇四年六月二十四日設立 代表社員 平良 二十四日 兀



二 十 長濱 \mathcal{O} 沖 応 た。 工 1 ∇ 電 兀 た 様 同 事、 工 な だ 友会に 周 0 たきま 経 か 年 従 下 な 理 業 請 担 カン 社 登 L 員 け 当) 同 録さ 長 数 で 友 は 会行 送 にご 不 業 れ 六 在 電 種 7 名、 対 線 は

ために んとし 6 心です 若 毎 起 た管 手 日 社 忙 理 員 軌 L 会 < \mathcal{O} 道 私 参 由 に が 加 な 参 迎 聞 加 は えたに 心 で 1 きな 細 て

働 に

1

す。

乗 ∇

る 1

護

師

カン

(訪問 新井、 石 村 計 育

 \mathcal{O} 成

確 P て せ 看

立 5

が

課

題

ゃ ま

沖

(有)

一長九濱 八一九三〇-九九一年七月二八十二年七月二日 利枝子 内三の二 二日四の二日四八二十二日



ます。 と大丈 G 旦 は 0 ため 是 (夫です 非 笑 参 加 きますと みると一 写真は との して 様 11 (訪問 لح 子。 返 あ 1 顔 ý, ただき 事。 伝 人 次 出 石 え で 口 L 村 る 次 は 理 Ν 0

○九八—-○九八―九二九―三一七九沖縄市字知花六の二三の七一九七五年七月三日設立 一代 之表社員 宮城 建太



(株) 宮 ∇ 月 宮 城 に 城 P 販 社 1 売 長 A 部 \mathcal{O} 0 門 奥 代 を 様 表 分 昨 け لح 年 7

> 念品 تلح ただきまし ま A 販 経 四 0 1 L 売 理 活 るの た。 担 動 + が 0 近 当 ~ 周 くと 主 が奥 写 ン で 久 年 0 を た。 高 真 参 に のこと。 豚 帽 舎場 加 なるそう 様 1 ただく。 にご 子 ŧ 業 を は 種 お カゝ 願 ち 倉 は 対 Š で ょ 敷 豚 応 11 う 肉 支 記 0

訪 問 石 村

○九八—九三八—○○九 沖縄市字登川一五八三 一九八七年六月設立 **一〇〇九九**



ľ 事 ∇ 務 池 間 所 0 さ アジ W が ア 不 チ 在 で、 Y 1 同

きま 動 F. 大地 サ しているそうです。 宮 ポ L 或 た。 震の さ 1 んにご \vdash 池 支援で忙 1 間 ル さ 対 ド サ 応 は しく ポ ネ 11 た ただ 活 1

県

 \mathcal{O} 動

補

助

金

Þ

支援策

など、 、ます。

じま

が V

ŋ ク 活 ク

が 7

中 ネ

心にな

0

7

1

で \mathcal{O}

雰 対

1

ジ

Y

]

とし

7

 \mathcal{O}

が訪問 新井、 石 村

澤 岻 中 小 企 断 Ì 事 務 所

二診○断 ○沖 九縄 市字登川 士 澤 八三五七 年七月十 岻 <u>ー</u>の 安久



た 産 際 診 ∇ 岻 に さ 断 銀 振 同 行 W 士 事 友 を は 会 退 務 社 昨 所 職 年 入 を L 会さ 立 て ょ 5 中 1) 沖 n 上 小 縄 た げ 企

県

業

興

公

0

フ

口

ジ

エ

ラ

1

力

イ

オ

ン

手 W

は

資

料

基

づ

1

7

利

だ

企 市

業

は

社

5

\ \ \

た。 7 ŧ あ ŧ 知 あ ま 5 0 る ŋ て 知 \mathcal{O} 1 5 11 ħ ただき、 いとのことでし より多くの 7 1 問 な ** \ 利 西 用 Ł 平 方 0

○沖一 九縄九天 八一九三四-八四年七月二八四年七月二八四年七月二



応 が 不 11 在 11 ∇ た 5 宮 だきまし 宮 里. 0 里 敏 L 敏 行 Þ 社 夫 0 副 長ご た 0) 代 でご 出 表 従 業 理 張 員 で 対 事

> ź す。 サ 囲 応 L が ス 気 た 副 0 \mathcal{O} 11 件 代 1 0 笑 表 で 11 ŧ 話 理 職 笑 事 場 顔 が 盛 だ \mathcal{O} が 愛 لح 素 ŋ 感 上 車 敵 味 (イタ は

有 た

沖 ○九八—九三九-一九八四年七月 一九八四年七月 月長 の 二



店 長 市 0) 舗 ŧ ∇ \mathcal{O} 裏 含 現 を 手 8 在 ゆ 番 展 側 A 開 サ 街。 W 中。 ラ 0 た あ 1 西 工 ŋ] 力 平 本 力 ま フ 中 店 な A どに モ は \mathcal{O} 部 エ 沖 支 イ 七 0 部 縄 オ ル

沖

縄

カン

5

イ

オ

に

申

幅

に

T

ツ

L

た

そう

で

う雑貨店で三Fに できな では入居してい ているそうです。 ま屋」 (だっ IJ ゾ いそうです)。 Ź たかな? ブランド 語で夢ギフ 彐 な • $\overset{\text{w}}{\smile}$ V オ 名 0) (鞄 ガ 1 は で プン لح 専 利 \mathcal{O} た 口 菛 意 用 1

替え試 サン タ たこ 用 に 顧 Δ ル 産 グ 居 を 客 事 業 年 差 昔 な \mathcal{O} Ĺ ŋ 導 業 サ \mathcal{O} 振 لح 近 別 工 のことです 力 支援 を グ] 興] 入 で 行 化 たときは、 バ をし 色 Ι 錯 メ お 公 を ビ お インプ ス で 誤 か Τ 社 Þ 図 専 話 な るた げ が 手を変え品 き Р \mathcal{O} \mathcal{O} コ 頂 門 がら苦 が、 で で 8 Ο 7 Ι きま 店 売 き \mathcal{O} S \Diamond 競 レ デ Τ と ケテ 上 る に 合 1 細 シ カュ イ 化 L L よう ŧ ネ ス 紳 店 か 七 ス 0 た。 て、 テ لح デ 士 に を 7 11

> てテナ るら Þ が に ま そうで 売 あると す。 財 した 合 上 わ 布 L 目 す 知 せ 最 標、 Ł V) いわれ ţ た 花 1 後 人 問 業 に 気 花 Þ **※** \mathcal{O} が 態 交 る 1 織 昨 出 7 太 渉 を 出 \mathcal{O} 年 店 0 気 1 田 作 で て 名 末 は 契 を ま ŧ 来 刺 で 約 る か 確 した。 新 必 き 7 5 環 入 に 認 井 要 境 n 販 る な

御 御

)1八—九五八—— 読谷村字宇座六五七 一九七九年六月設立 (二七三三三二) 澤岻カズー



舖。

娘

さ 創

んは

碧の会には参

二 十

代を中心に二十

·数名。

球陽

高

校

近くの

本社と

那

覇

営業所があります。

し

た。

業五十年以

上

0

老

 ∇

事

務

機

器

販

売。

社

員は

しょう L 年 迎えていただきました。) 長 て益 t 創 本部長の豪華メンバ 御菓子 沖縄 業から三十七年目の 々 を代表する企業と 発展していく事で 御 殿. 様 会長 今 社 に

(訪問 與崎 照 屋

玉鐵

九五六年七月十五日設立)九八―九三八―三二四:縄市知花三の四の二五 表取締役 九三八一三二四四 玉城 道好



娘さん のことで総務 ∇ 玉 にご対応 城 社 長ご 来 ļγ 経 ただきま 客 理 対 担 当 応 中

> も 明 加 次 加 対が印象的でした。 を 口 L つるく、 お は たことが 願 是 非支部行 1 はきはきし しました。 あ るそうで、 事への た応応 とて 参

(訪問 石村

(株) ŧ もやま

沖縄市字南桃原二の一六の二 一九八二年七月三十日設立代表取締役 大庭 直樹 〇九八一九三三一五三一一



多 て きます。 試 デ から購入され エ 商品アイテムで ス L . そうです。 ツ で ク ク 会社に に きるオフ が 収 耐 できるため ま 久 にお届 るか 性 るお客様 B イ は、 け な 実 ス 試 際 チ تلح 試 座 1 で ŧ 0 に エ お

スプレ ジタルサイネー 字や写真を入れるだけの 0 その 訴求が簡単にできます。 ②またテンプレ 模合帳、 移 他、 1 動 式 がわず 名入りボ 見やす ジ 店 (液晶) 頭 か十八万 1] で 1 レポ に文 ル 商 デ <u>~</u>° 1 デ 品

株アソシア

有

○九八―九八九―一八一北谷町字上勢頭六六九の 代表取締役 神谷 一〇〇九年六月二十三日設立代表取締役 神谷(牧人)

○九八―九八九―上北谷町字美浜二の一二〇〇三年六月四日

七二三二

代表取締役

福

一の一つ一の一つ



都合が る。 を通 当 求さ で就 \mathcal{O} 0 ま す。 ∇ に 人ら 関 お願 北 福 労移行 れ L わ 力 : 合 う て自 祉 L ŋ 様 谷 7 1 0) \mathcal{O} \mathcal{O} 々 1 コ 信を持 な事情 時は同友会に る神 支援を行 あ 生き方を支援 無 お イ ますね るべ 洒 11 イ 落 方でし 谷 方 き姿を追 で社 社 た Þ な 長。 せ、 に 力 0 会と 仕 フ 7 た。 そ す 事 本 1 エ

用紙など多数取り

が揃えて

新井

 ∇ 設立 から 十三 年、 昨 年

ワー た。 ています。株式会社中城 から就労支援事業 少 \mathcal{O} 副 L ア ツ づ 社 長も兼り つ ブ 軌 0 福 道 本 任 に 社 乗 に L 長 益 ŋ ŧ で Þ 参 始 七 パ 入 8

相談ください。 行 介 0 て 7 ま す。 お 気 軽 ŧ

(訪問

崎

冏

嘉、

照

屋

(訪問

與

崎

屋

護 用 品 0 V タ ル

文 掛軸の悠翠堂 牧志栄子

